

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年2月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2019年2月12日～3月1日
- 調査対象 200社
- 回答企業 104社
- 回収率 52.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の2月の状況を見ると業況DIは、前月より1.4ポイント悪化の▲25.9となった。

2017年9月以来18ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲17.3、当月に比べ8.6ポイントの改善を見込んでいる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 9月	10月	11月	12月	2019年 1月	2月	先行き見通し 2019年3月～ 5月
業況	▲30.9	▲34.2	▲21.6	▲21.1	▲24.5	▲25.9	▲17.3
売上	▲25.2	▲20.7	▲7.2	▲9.2	▲21.8	▲27.9	▲16.5
採算	▲31.5	▲25.2	▲21.6	▲12.8	▲23.6	▲26.0	▲16.4
仕入単価	▲38.7	▲43.7	▲43.2	▲30.2	▲36.4	▲41.4	▲38.4
従業員	27.9	33.3	32.4	31.2	27.5	29.8	32.7
資金繰り	▲7.2	▲9.9	▲9.9	▲7.3	▲10.0	▲8.7	▲10.6

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 9月	10月	11月	12月	2019年 1月	2月	先行き見通し 2019年3月～ 5月
建設	▲34.6	▲51.9	▲33.3	▲20.0	▲34.7	▲40.7	▲3.7
製造	▲26.9	▲25.0	▲16.0	▲37.5	▲32.0	▲32.0	▲36.0
卸売	▲33.3	▲15.0	▲5.3	▲17.4	▲26.1	▲15.0	▲15.0
小売	▲17.6	▲25.0	▲29.4	▲5.5	▲16.7	▲13.3	▲20.0
サービス	▲40.0	▲50.0	▲20.0	▲21.1	▲5.5	▲17.6	▲11.7

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・工事受注量の減少、資機材価格の高騰、下請業者の不足及び下請施工単価の上昇(総合工事) ・1月より大変。工事量が減少している(設備その他) ・少子高齢化は想像を絶する事態になりそう。(設備その他) ・資格保有者を確保できない。併せて20代世代の職員不足。人材不足により仕事量を増やせない(設備その他) ・仕事再開の見通し(建築)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・紙代、インキ代等仕入単価が上昇している。それを販売価格に反映していかなければならない(印刷出版) ・1月に各製紙メーカーから20%の値上げの通達があり、北海道一斉に2月1日より15%の値上げに踏み切った。ユーザーにも出来るだけ転嫁できるようお知らせをした。これらの結果がどう出るか。ここの営業にかかっている(印刷出版) ・年初より、主要原材料である用紙が値上げとなっており、採算は悪化傾向。紙媒体のマーケットの縮小傾向は変わらず、前年の売上高確保は難しい。(印刷出版) ・消費税増税はしない方向に行くと見ている取引先が多く、駆け込み需要は無い(金属窯業他)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・前年と同等の業況(機械鋼材) ・土木作業員の確保(機械鋼材) ・灯油について仕入価格が小幅に上昇したが、販売価格は措置。3月も大きな変動は無いものと思われる。(その他)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ウインターセールも落ち着き、春物商品が少しずつ入荷し店頭に揃い出したが、例年の2月より来店客が少なく売上が大変厳しい。(衣料品) ・消費税増税における包装紙の値上がり(食料品) ・運送業者各社の運賃値上げに伴う送料の増加と通信販売顧客からの回収方法の検討。今年10月の消費税増税に伴う軽減税率対応および通販商品価格の改定を進める(食料品) ・連日の降雪と寒さで暖房用燃料等の出荷が増えている(その他) ・従業員不足(その他)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・トナム、ニセコのスキー客の増大にて毎日残業の連続。工場を増設しなければ、夏の観光客増大に対処できないが、工場の工夫や運転手不足。仕事を断ることも考えている。(理美容クリーニング) ・燃料費増加。人材不足(ホテル・旅館) ・インバウンド増加もあり、売上は前年増。3ヶ月先も前年比プラスで推移だが、経費面は上昇しているため、採算は前年並み。(ホテル・旅館) ・外国人観光客は増加してきているが、大雪の影響か売上が減少している(飲食) ・競合他社の増加と設備更新時期が重なり多額の資金が必要(ホテル・旅館) ・慢性的な人材不足から、週休二日制の導入を検討中(その他) ・除雪問題 道路幅の減少による交通渋滞(運送)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI13.6 ポイント悪化、採算 DI1.3 ポイント改善、仕入単価 DI9.8 ポイント悪化、資金 DI7.7 ポイント改善、従業員 DI4.7 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 6.0 ポイント悪化となった。</p> <p>業種別では、建築業 25 ポイント改善、総合工事 8 ポイント、設備・その他 18 ポイント悪化となった。</p> <p>資格保有者を確保できない。併せて 20 代世代の職員不足。人材不足により仕事量を増やせないとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI4.0 ポイント悪化、採算 DI12.0 ポイント悪化、仕入単価 DI4.0 ポイント悪化、資金横ばい、従業員 DI4.0 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は横ばいとなった。</p> <p>業種別では、食料品 20 ポイント、印刷・出版 26 ポイント、家具・木材 25 ポイント悪化、金属窯業他 27 ポイント改善となった。</p> <p>年初より主要原材料である用紙が値上げとなっており採算は悪化傾向にある。紙媒体のマーケットの縮小傾向は変わらず、前年の売上高確保は難しいとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI6.1 ポイント改善、採算 DI11.8 ポイント改善、仕入単価 DI8.9 ポイント悪化、資金 DI2.4 ポイント改善、従業員 DI15.0 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 11.1 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。業種別では、その他 2 ポイント悪化、繊維・衣服等 50 ポイント、食料品 9 ポイント、機械鋼材 20 ポイント改善となった。</p> <p>前年と同等の業況との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI12.2 ポイント悪化、採算 DI3.3 ポイント改善、仕入単価 DI20.0 ポイント改善、資金 DI2.2 ポイント悪化、従業員 DI11.1 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.4 ポイント改善となったが「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。</p> <p>業種別では、衣料品 17 ポイント悪化、その他、自動車横ばい、食料品 20 ポイント改善となった。</p> <p>運送業者各社の運賃値上げに伴う送料の増加と通信販売顧客からの回収方法を検討。今年 10 月の消費税増税に伴う軽減税率対応および通販商品価格の改定を進めるとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI6.6 ポイント悪化、採算 DI12.8 ポイント悪化、仕入単価 DI13.8 ポイント悪化、資金 DI6.9 ポイント悪化、従業員 DI8.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 12.1 ポイント悪化となった。</p> <p>業種別では、飲食 33 ポイント改善、理美容・クリーニング、その他、運送横ばい、ホテル・旅館 40 ポイント、整備業 33 ポイント悪化となった。</p> <p>インバウンド増加もあり、売上は前年増となる。3 ヶ月先も前年比プラスで推移。しかし経費面は上昇しているため採算は前年並みとの声も寄せられている。</p>